

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	関係法規			
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×
到達目標	国家試験合格を目標とし、関係法規を理解する。						
教科書	関係法規						
授業内容	4月	1章法制度の概要(P,7~11)				2回	
	5月	1章法制度の概要(P,12~18) 2章衛生行政の概要(P,21~23)				4回	
	6月	2章衛生行政の概要(P,27~34) 3章璃・美容師法(P,37~47)				4回	
	7月	定期試験対策 3章璃・美容師法(P,49~62)				2回	
	8月	夏季休暇				0回	
	9月	3章璃・美容師法(P,48~64)				2回	
	10月	3章璃・美容師法(P,74~108)				5回	
	11月	3章璃・美容師法(P,112~123) 定期試験対策				4回	
	12月	4章関連法規(P,130~139)				2回	
	1月	4章関連法規(P,134~157) 総復習				4回	
	2月	総復習				1回	
	3月					0回	
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。						
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	衛生管理			
授業方法	講義	時間数	60	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×
到達目標	国家試験合格を目標とし、衛生管理を理解する。						
教科書	衛生管理						
授業内容	4月	1章公衆衛生の概要(P,8~18) 2章保健(P,19~20)				4	回
	5月	2章保健(P,21~42) × 4回 2編1章環境衛生(P,43~49)				8	回
	6月	2編1章環境衛生(P,50~61)				8	回
	7月	2編1章環境衛生(P,62~73) 復習・定期試験対策				4	回
	8月	夏季休暇				0	回
	9月	2編1章環境衛生(P,75~80) 3編1章感染症の総論(P,82)				4	回
	10月	3編1章感染症の総論(P,87~105)				10	回
	11月	3編1章感染症の総論(P,107~114) 2章感染症の各論(P,115~127)				8	回
	12月	復習・定期試験対策				4	回
	1月	2章感染症の各論(P,128~141) 復習・定期試験対策				8	回
	2月	復習・定期試験対策				2	回
	3月					0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。						
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	美容保健			
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容保健を理解する。						
教科書	美容保健						
授業内容	4月	1章頭部・顔部・頸部の体表解剖学(P,10~17)				2	回
	5月	2章骨格器(P,18~24) 3章筋系(P,26~27)				4	回
	6月	3章筋系(P,28~31) 4章神経系(P,32~37) 5章感覚器系(P,38)				4	回
	7月	5章感覚器系(P,38~43) 定期試験対策				2	回
	8月	夏期休暇				0	回
	9月	6章血液循環器系(P,44~49)				2	回
	10月	6章血液循環器系(P,49~55) 7章呼吸器系(P,56~59)				5	回
	11月	7章呼吸器系(P,59) 8章消化系(P,60~67)				4	回
	12月	8章消化系(P,68~70)				2	回
	1月	8章消化系(P,70~75) 復習				4	回
	2月	復習 定期試験対策				1	回
	3月					0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。						
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	化粧品化学			
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×
到達目標	国家試験合格を目標とし、化粧品化学を理解する。						
教科書	化粧品化学						
授業内容	4月	1章化粧品概論(P,10~12)				2	回
	5月	1章化粧品概論(P,13~17)				4	回
	6月	1章化粧品概論(P,20~23) 2章化粧品用原料(P,31~33)				4	回
	7月	2章化粧品用原料(P,34~39) 期末試験対策				2	回
	8月	夏季休暇				0	回
	9月	2章化粧品用原料(P,44~53)				2	回
	10月	2章化粧品用原料(P,56~69)				5	回
	11月	2章化粧品用原料(P,67~77)				4	回
	12月	2章化粧品用原料(P,79) 復習 期末対策				2	回
	1月	2章化粧品用原料(P,81~89) 期末対策				4	回
	2月	2章化粧品用原料(P,93~95) 期末対策				1	回
	3月					0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。						
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	文化論			
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×
到達目標	国家試験合格を目標とし、文化論を理解する。						
教科書	文化論						
授業内容	4月	1章総論(P,10~17)				2 回	
	5月	1章総論(P,17~26) 3章ファッション文化史・日本編(P,34~40)				4 回	
	6月	3章ファッション文化史・日本編(P,40~49)				4 回	
	7月	3章ファッション文化史・日本編(P,56、近世)				2 回	
	8月	夏季休暇				0 回	
	9月	3章ファッション文化史・日本編(P,56、近世)				2 回	
	10月	3章ファッション文化史・日本編(P,59~74、近世・江戸時代)				5 回	
	11月	3章ファッション文化史・日本編(P,89~95)				4 回	
	12月	3章ファッション文化史・日本編(P,103)				2 回	
	1月	3章ファッション文化史・日本編(P,112) 復習				4 回	
	2月	復習 期末対策				1 回	
	3月					0 回	
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。						
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科1年		科目名	美容技術理論	
授業方法	実習	時間数	90	国家試験課題	○
			実務経験のある教員による授業	○	
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容技術を理解する。				
教科書	美容技術理論				
授業内容	4月	序章(P,5~14)、1章美容用具(P,15~35) 復習プリント			
	5月	2章シャンプーイング、復習プリント(P,37~65)			
	6月	3章ヘアデザイン(P,67~88) テストに向けて復習プリント			
	7月	期末試験			
	9月	4章ヘアカットイング(P,89~128)			
	10月	5章パーマメントウェーピング(P,129~150)			
	11月	6章ヘアセッティング(P,151~220)			
	12月	期末試験			
	1月	7章ヘアカラーリング(P,221~249)			
	2月	復習対策プリント			
	3月	学年末試験			
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。				
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科1年		科目名	美容実習	
授業方法	実習	時間数	450	国家試験課題	○
到達目標	国家試験課題の技術を、余裕をもって習得				
教科書	美容実習の教科書・配布資料有り				
授業内容	4月	道具の説明・ウイックの手入れ方法解説・資料を見て、ワインディングの理論(構成)を説明・ブロッキング・スライシング・シェーピング・ステムの角度を頭の丸みに合わせて行う。オールパーパスよりST→デザイン巻き→体験(自分で実践)→センター16本を各ロッドの角度(基本のルール)に則り巻く			
	5月	GW中に復習した事の確認&フロント部分の理論(構成)と実習・右バックサイドとサイドの理論(構成)の解説&実習・左バックサイドとサイドの理論(構成)の解説→全頭53本の概要完了→タイム(巻くりズムとペース)を意識する			
	6月	目標:ブロッキング~1本目まで、2:10以内→2:05以内→1:30以内とペースを掴む。センターを10分以内 目標タイム:全頭40分間→35分間			
	7月	期末テスト実技WD:35分間(査定:国家試験に準ずる)→2学期に向けた時間の短縮WD:30分間			
	9月	オールウェーブの理論(構成)解説・オールウェーブの理論(構成)解説→1段目~3段目まで解説			
	10月	3段目まで解説(復習)&デモンストレーション→体験(自分で実践)・4~7段目の解説&デモンストレーション→体験(自分で実践)			
	11月	各段の復習&デモンストレーション→体験(自分で実践) 1~3段目までの目標タイム:18分間以内→全頭目標タイム:40分間以内			
	12月	期末テスト実技WD:25分間(査定:国家試験に準ずる)・期末テスト実技AW:40分間(査定:国家試験に準ずる)→3学期に向けた時間の短縮→WD:20分間、AW25分間			
	1月	冬季休暇明け実力テスト:WD20分間、AW25分間→復習とクオリティーのバランスを考える			
	2月	期末テスト実技WD:20分間(査定:国家試験に準ずる)・期末テスト実技AW:25分間(査定:国家試験に準ずる)			
3月	国家試験に沿った「衛生」の実技の解説と注意点・復習とクオリティーのバランスの向上				
試験方法	国家試験の査定基準を元に、100点満点から減点項目の審査				
評価方法	100点満点中60点基準を合格 期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	衛生管理	
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○ 実務経験のある教員による授業 ×
到達目標	国家試験合格を目標とし、衛生管理を理解する。				
教科書	衛生管理				
授業内容	4月	4編1章消毒法総論(P,144～146)			2 回
	5月	4編1章消毒法総論(P,149～159)			4 回
	6月	2章消毒法各論(P,161～167)			4 回
	7月	2章消毒法各論(P,167～174) 復習・定期試験対策			2 回
	8月	夏季休暇			0 回
	9月	2章消毒法各論(P,174) 3章消毒法実習(P,179～)			2 回
	10月	3章消毒法実習(P,179～204)			5 回
	11月	3章消毒法実習(P,176) 5編1章理容所及び美容所における衛生管理要領(P,212)			4 回
	12月	5編1章理容所及び美容所における衛生管理要領(P,212～233)			2 回
	1月	5編1章理容所及び美容所における衛生管理要領(P,233) 2章理・美容所の自主管理点検表(P,233～242) 国家試験対策			4 回
	2月	国家試験対策			1 回
3月				0 回	
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。				
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	美容保健				
授業方法	講義	時間数	60	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容保健を理解する。							
教科書	美容保健							
授業内容	4月	2章皮膚付属器官の構造 (P,80～87)					4	回
	5月	2章皮膚付属器官の構造 (P,87～89) 3章皮膚の循環と神経系 (P,90～93) 復習・練習問題 6章皮膚・皮膚付属器官の疾患 (P,145～150)					8	回
	6月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患 (P,151～173)					8	回
	7月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患 (P,171～180) 爪と毛の疾患～皮膚の腫瘍 定期試験対策					4	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患 (P,128～132)					4	回
	10月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患 (P,131～144) 4章皮膚付属器官の生理機能 (P,94～107)					10	回
	11月	5章皮膚付属器官の保健 (P,108～125)					8	回
	12月	5章皮膚付属器官の保健 (P,126～129) 期末試験対策					4	回
	1月	復習・国家試験対策					8	回
	2月	国家試験対策					2	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点							
その他 予習・復習								

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	化粧品化学				
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	国家試験合格を目標とし、化粧品化学を理解する。							
教科書	化粧品化学							
授業内容	4月	3章基礎化粧品 (P,106～111)					2	回
	5月	3章基礎化粧品 (P,109～114)					4	回
	6月	3章基礎化粧品 (P,111～116) 4章メイクアップ用化粧品 (P,129)					4	回
	7月	4章メイクアップ用化粧品 (P,129～136)					2	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	4章メイクアップ用化粧品 (P,136～142)					2	回
	10月	4章メイクアップ用化粧品 (P,118) 5章頭皮・毛髪化粧品 (P,148～155)					5	回
	11月	5章頭皮・毛髪化粧品 (P,156～163)					4	回
	12月	5章頭皮・毛髪化粧品 (P,172～176)					2	回
	1月	5章頭皮・毛髪化粧品 (P,179～186) 6章芳香製品と特殊化粧品 (P,119～125) 期末試験対策					4	回
	2月	国家試験対策					1	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点							
その他 予習・復習								

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	文化論				
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	国家試験合格を目標とし、文化論を理解する。							
教科書	文化論							
授業内容	4月	4章西洋編(P,120～126)					2	回
	5月	4章西洋編(P,127～133)					4	回
	6月	4章西洋編(P,137～141)					4	回
	7月	4章西洋編(P,146～148)					2	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	4章西洋編(P,148～153)					2	回
	10月	4章西洋編(P,153～168)					5	回
	11月	4章西洋編(P,173～177)					4	回
	12月	5章礼装の種類(P,180～186)					2	回
	1月	復習 期末試験対策 国家試験対策					4	回
	2月	国家試験対策					1	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点							
その他 予習・復習								

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科2年		科目名	美容技術理論	
授業方法	実習	時間数	60	国家試験課題	○
			実務経験のある教員による授業	○	
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容技術を理解する。				
教科書	美容技術理論				
授業内容	4月	技術理論 I 復習対策、8章エステティック(P,4~35)、9章ネイル技術(P,36~71)			
	5月	10章メイクアップ(P,72~111)、11章日本髪(P,112~133)			
	6月	12章着付の理論と技術(P,134~178)			
	7月	期末テスト			
	9月	復習対策			
	10月	復習対策			
	11月	復習対策			
	12月	期末テスト			
	1月	復習 期末試験対策 国家試験対策			
	2月	国家試験対策			
	3月	国家試験対策			
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。				
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	運営管理				
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	国家試験合格を目標とし、運営管理を理解する。							
教科書	運営管理							
授業内容	4月	1章経営とは経営者とは(P,8~16)					2	回
	5月	1章経営とは経営者とは(P,8~16) 2章理・美容の経営について(P,24~31) 3章資金の管理(P,34~36)					4	回
	6月	3章資金の管理(P,36~44) 期末試験対策					4	回
	7月	2編1章人という資源(P,48~52)					2	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	2編1章人という資源(P,54~58)					2	回
	10月	2章健康と安全な職場環境の現実(P,84~96) 3章従業員の視点から(P,62~74)					6	回
	11月	3章従業員の視点から(P,80~82) 3編1章サービスデザイン(P,100~114)					4	回
	12月	3編1章サービスデザイン(P,116) 期末試験対策 2章マーケティング(P,120~136)					2	回
	1月	3章サービスにおける役割(P,138~156)					3	回
	2月	国家試験対策					1	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に卒業試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点							
その他 予習・復習								

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科2年		科目名	美容実習	
授業方法	実習	時間数	450	国家試験課題	○
到達目標	国家試験課題の技術を、余裕をもって習得				
教科書	美容実習の教科書・配布資料有り				
授業内容	4月	国家試験に沿った「衛生」の実技の解説と注意点・復習とクオリティーのバランスの向上 大会に向けた練習・技術の総復習			
	5月	国家試験を基準とした技術力の安定を図る 大会に向けた練習			
	6月	タイム練習の反芻 県大会			
	7月	期末テスト実技WD:20分間(査定:国家試験に準ずる)・期末テスト実技AW:25分間(査定:国家試験に準ずる) 関東大会			
	9月	カット練習スタート タイム:国家試験20分に向けて(最初の目標40分)			
	10月	カット技術練習・タイム:国家試験20分に向けて AW・WDの技術の安定練習			
	11月	卒業見込み試験:国家試験に確定した技術AWかWD ・ カット(査定:国家試験に準ずる)			
	12月	期末テスト・模擬試験 国家試験に確定した技術AWかWD ・ カット(査定:国家試験に準ずる)			
	1月	国家試験に向けた総仕上げ 卒業試験実技(査定:国家試験に準ずる)			
	2月	美容師国家試験実技			
	3月				
試験方法	国家試験の査定基準を元に、100点満点から減点項目の審査				
評価方法	100点満点中60点基準を合格 期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	生活の科学				
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	×	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	それぞれの生活環境をとおり、地球を知り、環境保全に努める。							
教科書								
授業内容	4月	食生活から考える(エコな食生活)					2	回
	5月	廃棄物から考える(廃棄物の種類と処理法、循環型社会を目指す、ゴミを減らす)					4	回
	6月	化学物質と環境(化学物質と生活、環境ホルモン、カネミ油症事件)					4	回
	7月	化学物質と環境(食品添加物、残留農薬)					2	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	地球環境から考える(地球温暖化、国際的な取り組み)					2	回
	10月	地球環境から考える(地球温暖化問題、防止に向けて適応策)					5	回
	11月	その他の地球環境問題(人口の爆発、南北問題、オゾン層の破壊)					4	回
	12月	その他の地球環境問題(酸性雨、野生的・減少)					2	回
	1月	その他の地球環境問題(熱帯林の減少、砂漠化) 都市環境から考える(大気汚染の環境基準、大気汚染防止法)					4	回
	2月	都市環境から考える(小環境の保全、土壌環境)					1	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点							
その他 予習・復習								

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科1～2年	科目名	美容総合技術
授業方法	実技	時間数	570
		国家試験課題	○
		実務経験のある教員による授業	○
到達目標	実践的な技術: セット・アップ・編み込み・ブロー・カット・シャンプー・ネイル・メイク等		
教科書	参考資料・配布物等有り		
授業内容	1～2年共通・・・4月～6月:メイク		
	1年・・・5月～6月:エリカによるヘアアレンジ・アップのスペシャル授業		
	6月～7月・9月～10月:ネイル(別紙シラバス参照) 7月 ヘッドマッサージで授業実施対策		
	2月 ヴィサージュによるフォトシューティング授業		
試験方法	状況や授業内容により変動		
評価方法	出席状況・態度・テストへの評価での査定。 期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点		
その他 予習・復習			

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	ネイル			
授業方法	実技	時間数	21	国家試験課題	×	実務経験のある教員による授業	○
到達目標	実践的なネイルの技術と知識を身につける。						
教科書	参考資料・配布物等有り						
授業内容	4月					回	
	5月					回	
	6月	・ネイルケア (ポリッシュオフ、ファイリング、キューティクルケア)				9 回	
	7月	・ネイルケア (赤ポリッシュ、フラワーアート)				3 回	
	8月					回	
	9月	・ネイルケア (赤ポリッシュ、フラワーアート)				6 回	
	10月	・ジェルネイル(基本操作、理論含む)				3 回	
	11月					回	
	12月					回	
	1月					回	
	2月					回	
	3月					回	
試験方法	状況や授業内容により変動						
評価方法	出席状況・態度・テストへの評価での査定。 期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点						
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 2年		科目名	実習 メイク		
授業方法	時間数		国家試験課題	×	実務経験のある教員による授業	×
到達目標						
教科書						
授業内容	4月				回	
	5月				回	
	6月	メイクアップアドバンス (キュートorエレガント)			回	
	7月	メイクアップアドバンス (多色塗り)			回	
	8月				回	
	9月				回	
	10月				回	
	11月				回	
	12月				回	
	1月				回	
	2月				回	
	3月				回	
試験方法						
評価方法						
その他 予習・復習						

2025年度

学部名	専門課程 総合美容科 1年		科目名	実習 メイク		
授業方法	時間数		国家試験課題	×	実務経験のある教員による授業	×
到達目標						
教科書						
授業内容	4月	メイクアップベーシック (クレンジング、ベースメイク)			回	
	5月	メイクアップベーシック (ファンデーション、ポイントメイク)			回	
	6月				回	
	7月				回	
	8月				回	
	9月				回	
	10月				回	
	11月				回	
	12月				回	
	1月				回	
	2月				回	
	3月				回	
試験方法						
評価方法						
その他 予習・復習						

2025年度

学部名	専門課程・高等課程		科目名	選択授業 プライダルプランナー			
授業方法	実習	時間数	48	国家試験課題	×	実務経験のある教員による授業	○
到達目標	国際ライセンス全米ブライダルコンサルタント協会のブライダルプランナー3級・2級の資格取得を目指し、就職後に即戦力となる技術・知識を身につける。						
教科書							
授業内容	4月					0	回
	5月	テキストを使った3級検定対策 日本のブライダル市場・ウェディングの決定・婚礼施設の主義務 関連商品・サービス/衣装・関連商品・サービス/主要各業種				5	回
	6月	3級検定試験				1	回
	7月					0	回
	8月	テキストを使った2級検定対策(日本・欧米) アメリカンウェディングとは・準備編1・準備編2・本番1・本番2 ブライダルコンサルタントの環境				7	回
	9月	テキストを使った2級検定対策(日本・欧米) アメリカンウェディングとは・準備編1・準備編2・本番1・本番2 ブライダルコンサルタントの環境  2級検定試験				4	回
	10月					0	回
	11月					0	回
	12月					0	回
	1月					0	回
	2月					0	回
	3月					0	回
試験方法							
評価方法							
その他 予習・復習							

2025年度

学部名	高等課程 総合美容科 1年		科目名	美容保健	
授業方法	講義	時間数	60	国家試験課題	○
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容保健を理解する。				
教科書	美容保健				
授業内容	4月	1章頭部・顔部・頸部の体表解剖学(P,12～)			3 回
	5月	2章骨格器(P,22～29) 3章筋系(P,30～34)			8 回
	6月	3章筋系(P,34～36) 4章神経系(P,38～41) 5章感覚器系(P,42～45)			8 回
	7月	5章感覚器系(P,46～47) 復習・練習問題 定期試験対策			9 回
	8月	夏期休暇			0 回
	9月	6章血液循環器系(P,48～55) 7章呼吸器系(P,56～58)			4 回
	10月	7章呼吸器系(P,56～58) 8章消化系 復習・練習問題 2編1章皮膚の構造Ⅰ(P,68～75)			10 回
	11月	1章皮膚の構造(P,76～77) 2章皮膚付属器官の構造(P,78～89)			8 回
	12月	3章皮膚の循環と神経系(P,90～93) 復習・練習問題 定期試験対策			4 回
	1月	4章皮膚付属器官の生理機能(P,94～97) 復習・練習問題			8 回
	2月	総復習 定期試験対策			2 回
	3月				0 回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には進級試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。				
評価方法	期末試験・進級試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100～90点 A・・・89～80点 B・・・79～65点 C・・・64～60点				
その他 予習・復習					

2025年度

学部名	高等課程 総合美容科 2年		科目名	美容保健				
授業方法	講義	時間数	30	国家試験課題	○	実務経験のある教員による授業	×	
到達目標	国家試験合格を目標とし、美容保健を理解する。							
教科書	美容保健							
授業内容	4月	4章皮膚付属器官の生理機能(P,100~102)					2	回
	5月	4章皮膚付属器官の生理機能(P,103~107) 6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,150~152)					4	回
	6月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,152~169)					4	回
	7月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,169~180) 6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,132~136)					2	回
	8月	夏季休暇					0	回
	9月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,135~143)					2	回
	10月	6章皮膚・皮膚付属器官の疾患(P,143~150) 5章皮膚と皮膚付属器官の保健(P,108~113)					5	回
	11月	5章皮膚と皮膚付属器官の保健(P,113~125)					4	回
	12月	5章皮膚と皮膚付属器官の保健(P,126~129)					2	回
	1月	復習・国家試験対策					4	回
	2月	復習・国家試験対策					1	回
	3月						0	回
試験方法	1・2学期には学期末に期末試験、3学期には卒業試験を行う。 60点以上を合格とし、60点以下は追試を行う。							
評価方法	期末試験・卒業試験を基に、以下の成績に変換して評価を行う。 AA・・・100~90点 A・・・89~80点 B・・・79~65点 C・・・64~60点							
その他 予習・復習								